



前進

育てたい力：共感力・探究力・協働力

◎改修が終わった校舎で2学期をスタートします。

7月31日(土)には、多くの保護者、芦北町教育委員会、近隣の小中学校教職員、佐敷中生徒そしてボランティアの方々に来校いただき、改修が終わった本校舎への荷物の移転作業に御協力をいただきました。職員・児童一同心より御礼申し上げます。

2学期から、全員が揃って本校舎で学校生活を送れることとなります。1年生は初めての本校舎での生活となり、きっと新鮮な気持ちで頑張ってくれることでしょう。6年生は他の学年の模範として、最上級生としての自覚をさらに高めてくれると思います。校内放送やチャイムも使用できるようになり、校内の情報の共有が図られ利便性が向上することは間違いありません。

校舎の改修については、芦北町当局及び教育委員会の皆様にはたいへんご尽力いただきました。1日も早い復旧を目指して工事の進捗状況に終始細やかな気配りをさせていただきました。また、教育活動の充実と工事の兼ね合いが難しい時も、学校の立場に寄り添い、対応策を検討いただきました。多くの方のご理解とご支援のおかげで、今日の日を迎えられたことを実感しています。

そこで、始業式では、子どもたちに次の2つの話をしました。

- ①自分たちの生活を支えてくれて下さる多くの方に「感謝の気持ち」をもつこと。
- ②困っていたり苦しんでいたりを助ける人間に成長してほしいこと。

子どもたちにとって、大変な思いをした1年2カ月だと思いますが、この経験を今後の教育活動に生かしていきたいと思います。



◎復興祈念植樹が行われました。

9月1日（水）に、芦北町農林水産課主催で、令和2年7月豪雨災害復興記念植樹式が開催されました。校舎の復旧工事が終わり、改修された校舎で2学期を迎えた記念の日の開催となりました。

芦北町竹崎町長、岩田教育長が来校され、6年生代表の木倉さん・田山さんと



一緒にソメイヨシノの苗木を三岳像の近くに植えました。

竹崎町長のあいさつでは、「芦北町に大変な被害が出たが、多くの方の支援をいただいた。また、学校の復旧をできる限り優先して取り組んだ。皆と一緒に生活できる校舎で、これからも精一杯頑張ってもらいたい。」というお話がありました。児童代表の漆山さんは、「植えた桜の木を見て今日の嬉しかった気持ちを思い出し、これからの成長につなげていきたい。また、お世話になった地域の方々に、大きな挨拶で元気を届けたい。」と述べていました。

◎感染症対策に努めます。

新型コロナウイルス感染拡大防止について、全職員でアイデアを出し合いながら取り組んでいるところです。細かいことですが、例えばうがいの際にはできるだけ下の方で水を吐き出し、飛沫を飛ばさないように指導しています。



詳細な内容についてはプリントを配布しますが、ご家庭でも精一杯の感染防止対策を行っていただくようお願いいたします。また、学校へ必要なことは必ずお伝えいただくこと、もし学校関係者に感染者が出た場合は、プライバシーや人権には十分配慮することをお願いいたします。まずは学校にウイルスを「持ち込まない」ことを最優先で取り組んでいきましょう。

【校長室から】2学期は様々な行事が予定されています。教育的効果が高いものは、可能な範囲で実施していきたいと考えています。新型コロナウイルスの感染状況次第で、内容や方法の変更、急な中止などがあるかもしれません。できる限り早めの連絡をしたいと思います。その際はご理解をよろしく申し上げます。